

2025年1月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第241号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」のweb展示について

2024年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」出展機関のデータ（映像、テキスト等）を東海生研ホームページ上で2025年1月17日（木）まで公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/>

☆2025年度「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金（地場産業枠・農商工連携枠）」の募集開始について

あいち産業振興機構では、中小企業者等が行う地域資源を活用した新製品（商品）開発、販路拡大などの新事業展開を支援するため、「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金」を実施しています。

1 募集期間 2024年12月9日（月）から2025年1月17日（金）まで

2 対象者 中小企業者等（中小企業者、中小企業者グループ、小規模企業者、中小企業者団体、一社団法人及び一般財団法人）

3 助成金区分

(1) 新事業展開応援助成金（地場産業枠）

主要地場産業（繊維、窯業、食品、家具及び伝統的工芸品）の分野で県内の地域資源を活用した新事業展開

(2) 新事業展開応援助成金（農商工連携枠）

あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携し、県内の地域資源の農林水産物を活用した新事業展開

4 対象事業（両助成金区分共通）

1. 新製品（商品）開発、2. 販路拡大、3. 人材育成（1、2につながるもの）

5 申込み・問合せ先 公益財団法人あいち産業振興機構新事業支援部 地域資源活用・知的財産グループ TEL052-715-3074

詳細はこちら▼<https://www.aibsc.jp/support/1182/>

.....

2. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆食育推進フォーラム2025～みらいプレスで見えてくる！わたしたちの食育～

開催日時：令和7年1月31日（金曜日）15時00分から17時00分

開催場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア（東京都千代田区）

募集人数：会場参加 150名、オンライン参加 350名（zoomウェビナー配信）

参加費：無料

詳細はこちら▼<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/e-mag/bk/attach/pdf/54mag-1.pdf>

☆「革新的新品種開発加速化緊急対策のうち政策ニーズに対応した革新的新品種開発（提案公募型）」の公募開始のお知らせ

生研支援センターでは、「革新的新品種開発加速化緊急対策のうち政策ニーズに対応した革新的新品種開発（提案公募型）」の公募を開始しました。

公募期間：2025年1月8日（水曜日）～2月5日（水曜日）正午まで

公募説明会：2025年1月にオンラインで開催予定

詳細はこちら▼https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/hinsyu-kaihatsu_r6hosei/offering/koubo/2024.html

☆北陸農政局「令和6年度『食育ネットほくりく』交流会」の開催

北陸農政局は、「ほくりくアイドル部と一緒に北陸の食を推し活～地元食材を生かしたライブクッキング～」を開催します。

開催日時：令和7年1月18日（土曜日）13時30分から15時30分

開催場所：金沢広坂合同庁舎1階 大会議室（石川県金沢市）

募集人数：会場参加 50名、オンライン参加 定員制限なし

参加費：無料

詳細はこちら▼<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/syouan/241210.html>

☆2024年度近畿アグリハイテク公開セミナー「健康な土をつくる～ミミズが教えてくれること～」

日時：令和7年2月21日（金）14:00～16:00

場所：キャンパスプラザ京都4階第3講義室（京都市下京区）

形態：ハイブリッド開催

詳細はこちら▼<https://agri-renkei.jp/2024/11/14/6599/>

.....

3. 2024年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆NEDO：「バイオものづくり革命推進事業（第3回公募）」

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム令和7年度採択「代替エネルギー」領域、「防災」領域共同研究課題募集」

■民間等

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「2025年度研究助成」

☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第14回新化学技術研究奨励賞」

2024年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆農産関係

水稻新品種「やわらまる」の育成とその特徴を活かした米粉即席麺の開発

— 湯戻し時間を短縮した新しい米粉即席麺の普及に貢献 —

農研機構は米粉即席麺への適性を持つ新品種「やわらまる」を育成し、小林生麺株式会社と共同で、米粉即席麺の課題であった湯戻し時間を、従来の製法と比較して約3分短縮する技術を開発しました。この技術は、米デンプンが低温で糊化する新品種「やわらまる」の特徴を活かすことによって可能となりました。現在、グルテンを含まない即席麺として小林生麺株式会社が受注を開始しています。今後、同技術による国産米粉使用のカップ麺を開発し、輸出も含め広く普及することを目指します。

▽詳細はこちらから▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nfri/166733.html

☆食品関係

醤油の製造環境には耐塩性乳菌 *Tetragenococcus halophilus* が棲みついでおり、仕込みの際に諸味へ混入して増殖し、味形成に寄与しています。この製造環境に由来する乳酸菌は野生乳酸菌と呼ばれ、性質異なる多様な菌株で構成されています。その一部はヒスタミンやチラミン（以下、アミン）生成能を有しており、醸造中に蓄積することがあります。アミンは醤油品質に悪影響を及ぼすため、低減化が望まれています。アミン低減化に向けた当センターの取り組みを紹介します。

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターニュース 2024年12月号

<https://www.aichi-inst.jp/shokuhin/>

(2)その他

☆2024年農業技術10大ニュースの選定について

この1年間に新聞記事となった民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人の農林水産研究成果のうち、内容に優れるとともに社会的関心が高いと考えられる成果10課題を農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社加盟）の加盟会員による投票を得て選定しました。

農林水産技術会議 <https://www.affrc.maff.go.jp>

.....

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、NPO法人東海生研の諸活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。本年も東海地域における産学官連携支援に邁進し、地域のネットワークの形成、競争的資金獲得、農林水産業・食品産業における研究成果の実用化・事業化に向け、鋭意、活動を進めて参りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>